

## 社会資本総合整備計画 事前評価調書

計 画 の 概 要	計画の分野	地域住宅支援
	計画の名称	黒部市における住宅やセーフティネットの構築と住環境の向上(黒部地域住宅計画)
	交付対象	黒部市
	計画期間	平成30年度～平成34年度(5年間)
	計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の公営住宅等を公営住宅等長寿命化計画に基づき修繕・改善することで、セーフティネットの維持と高齢者や子育て世帯が安心して暮らせるまちづくりを実現する。</li> <li>・市内における老朽危険空き家の除却を促進し、誰もが安心して暮らせるよう住環境の向上を図る。</li> </ul>
	定量的指標 (目標値)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒部市営住宅等長寿命化計画の達成率を66%から100%に引き上げる。</li> <li>・老朽危険空き家の除却率を59%(H30)から90%(H34)に拡充させる。</li> </ul>
	対象事業	A-1 地域住宅計画に基づく事業(公営住宅等ストック総合改善事業) A-2 地域住宅計画に基づく事業(住宅地区改良事業)
全体事業費	56百万円	

項 目	評 価 細 目	評 価	説 明 欄
目 標 の 妥 当 性	1 関連する上位計画等との整合性が図られているか	○	黒部市総合計画と位置付けられた内容と整合が図られている
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	地域の活性化や安全性の確保のための道路網の整備及び良好な住環境の向上を図り、安心して暮らせる環境の確保を目標としている
計 画 の 効 果 ・ 効 率 性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されているか	○	整備計画の目標に合わせた定量的指標となっている
	2 定量的指標が分かりやすいものとなっているか	○	公開されている統計データや調査結果を基にした指標であり、分かりやすさに配慮した指標となっている
	3 目標と事業内容の整合性が確保されているか	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、整合性を確保している
	4 中間評価・事後評価時に検証可能な適切な指標となっているか	○	実績を基にした指標であり、中間・事後評価時に検証可能な指標となっている
	5 十分な事業効果が得られる計画となっているか	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、事業効果が得られる計画となっている
計 画 の 実 現 可 能 性	1 計画の熟度が高く、円滑な事業執行の環境が整っているか	○	目標達成に必要な事業を位置付けており、円滑な事業執行の環境が整っている
	2 地元の機運が醸成されているか	○	地元からの要望が強い事業も多く含まれていることから、地元との合意形成など実現に向けた機運が醸成されている
評 価 結 果	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">評価Ⅰ 事業を実施</div> 評価Ⅱ 計画の見直し		<b>【評価基準】</b> 「評価Ⅰ」は、全項目に○印が付いているもの 「評価Ⅱ」は、1項目でも×が付いているもの